

# (一社) 三重県診療放射線技師会 学術講演会

日時： 2017年 1月 7日(土) 14:30~

会場： 三重大学医学部 **臨床第2講義室**

14:30~14:50

学術情報 「造影剤の最近の話題」

第一三共株式会社

「核医学の最近の話題」

富士フィルムRIファーマ株式会社

14:50~15:50

特別講演

座長：三重大学医学部附属病院 中央放射線部 山田 剛 先生

## 「前立腺がん診断・治療の最新情報： MRI画像とロボット支援（ダビンチ）手術について」

三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 教授 杉村 芳樹 先生

16:00~

情報交換会 三重大学 第2生協

拝啓 寒冷の候、ますますのご健勝のことお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。わが国で前立腺がんの患者数は約18万人と推定されます。罹患者数の推定値は2011年で約8万人で、男性では胃がんに次いで2番目に多く、この20年間における増加も顕著なものとあります。今後、社会の高齢化や生活環境・食生活の欧米化とともにPSA検査の普及により、さらに増えるであろうと予想されています。日本人の前立腺がんによる死亡数も年々増加し、2014年では約12000人とこの20年間で約2.5倍に増加しています。しかし、がんが前立腺だけにとどまり、他の臓器への転移がなければ、手術や放射線治療などの適切な処置を行うことで、10年生存率は80%以上が期待できます。前立腺から離れた場所に転移している場合は5年生存率が45%になりますので、いかに早い時期に発見し治療するかが大きな鍵となります。そこで、今回は三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 教授 の杉村芳樹先生をお招きし、前立腺がんの診断・治療の最新情報についてご講演いただきます。我々診療放射線技師の業務にも関わる内容です。また、三重県下で最初にダビンチを導入された先生ならではの興味深い講演が聞かせていただける事と思われます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬白

\* 本会は、日本診療放射線技師会の生涯教育カウント付与対象となります。

\* ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

\* 当日は、ご参加頂いた確認のため、ご施設名、ご芳名のご記載をお願い申し上げます。  
なお、ご記載頂いた施設名、ご芳名は医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。  
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催：三重県診療放射線技師会／富士フィルムRIファーマ株式会社／第一三共株式会社